

第6回東金市総合計画審議会 会議議事録（要旨）

日 時：令和2年12月24日（木）15:00～16:45

場 所：東金市役所 5階会議室

【議事内容（要旨）】

1 開会

- ・事務局（企画課副課長）よりあいさつ

2 市長あいさつ

- ・鹿間市長よりあいさつ

3 会長あいさつ

- ・会長よりあいさつ

—市長退席—

4 議題

（1）東金市第4次総合計画 前期基本計画編（案）について

発言者	内容
会長	・今回の前期基本計画（案）については、前回の審議会での意見を踏まえて修正されている。まず、事務局より説明を。
事務局 （企画課企画係長）	（「資料 東金市第4次総合計画 前期基本計画編（案）」について説明）
会長	・意見を受けて修正したもの、現在協議中のもの、原案どおりとしたものの3パターンある。前回出された意見と、今回の取り扱いを比べて、質問・意見があるか。
委員	・意見については、反映されたもの、保留となっているもの等あるが、今回出た意見は各部署で共有し、今後の事業策定の際に反映・参考としていただきたい。
事務局 （企画課長）	・前回のご意見については、各担当部署と協議の上、反映した。今回基本計画で取り上げられなかった意見についても、実施計画策定の段階では十分考慮して策定することを、全庁での共通理解としたい。
委員	・非常によくまとまった、まとまりすぎた計画となっている印象。東金市独自の、目玉になるものが見えない。観光で人を集めるには、“東金市にはこれがある”といったイベントやインフラ整備

発言者	内容
	<p>が必要と考えるが、そのような計画もない。やっさフェスティバルも年々縮小する傾向にあり、小さくまとまってしまっている。財政的に難しいこともあるが、民間と連携する等、やり方は色々ある。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光事業部分については、コロナ感染症の影響で、現状縮小の傾向にある中、踏み込んだ記述ができなかったという面もある。コロナ以前は観光PRイベント等を盛んに実施してきた。コロナ後は同様にPRしていき、またコロナ禍においてもできることをやっていく必要がある。東金市はイベントに限らず、文化・歴史、グルメ等、様々な魅力があるので、それを発信していく。目玉としては、4章とうがね10年の経営重点戦略の中で示していきたい。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで自粛が続く中、踏み込んだ記述ができないのはよく分かるが、前期5年の計画であるので、コロナ終息後、復興の拠り所になる計画がないと困る。達成は困難だとしても、ひとつの指標として示せないことはないと思う。指摘いただいた意見について加味しながら、前向きで、かつ1, 2年コロナ禍で動けない中でも書けるものを、もう一度事務局で協議いただきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回、新規事業を目立たせる趣旨で、新規・継続の別がわかるようにした方がいいと意見し、主要事業に“新規”という欄が設けられたが、これでは新規事業の数が少なく、継続事業が目立ってしまっている。新規の欄を設けるのではなく、事業概要の末尾に“新規”の記述を入れてはどうか。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見なので検討いただきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成等含め、前回と比べて見やすくなった。 ・P14 児童館運営事業について、少子化の中、幼児・児童が触れ合える場として、子育て支援の拠点となるよう検討いただきたい。 ・P16 幼保再編の推進について、近年は外国国籍の幼児が増えてきており、これから外国人の視点が入ってくる。このようなニーズ(不安なく小学校入学の準備が速やかにできる等)にもきめ細やかに対応できるような、指定施設(幼稚園等)の検討もしていただきたい。 ・P17 家庭教育の充実について、働く女性も増え、価値観も変化している。アクションプラン策定の際も、しっかりと現状把握の上、現状にあった事業を検討いただきたい。 ・P17 幼児教育担当指導主事の配置について、幼少時代の生育はその後に大きく影響する。従来の固定観念に捕らわれた子育てでは問題がでてきている。“基本的なことが備わっての個性の発揮”

発言者	内容
	<p>ができるよう、幼児教育においては専門の指導者が必要。是非、予算化等についても実現していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P103 行政改革について、世の中の動きは速い。常に現状を把握し、フレキシブルに対応する組織であってほしい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この要望について、記載内容の修正が必要か否かも含め、事務局で検討してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもよくまとまっているが、東金らしさという点で突出したものがない。教育、産業、観光等、どの分野でも、もっと突飛な、これが東金という事業があってもいいのではないか。今後、基本計画を土台に、具体の東金らしさを出してほしい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい問題だが、やはり前期基本計画の目玉はこれというものを打ち出すべき。事務局の覚悟が見えない。
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・東金の強みを活かした、目玉となる事業については、とうがね10年の経営重点戦略の中で整理する考えだが、そこがまだ見えにくい状況。また、5章以降の主要事業においても、新規・拡充事業がわかりやすくなるよう工夫する。 ・前期基本計画5年間で確実に実施していくという視点で整理したことによる、特徴がないとの指摘は了解した。いただいた意見を踏まえ、構成等も含め検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東金市独自の事業に関連して、デジタル化の戦略について提案する。 ・デジタル庁の創設に伴い、国のデジタル化施策が急速に進展すると考えられることから、国の助成事業や企画募集に参画し、他に先駆けていち早く高度デジタル通信環境を導入することで、企業誘致や転入促進のインセンティブとなる。 ・東金市で提供される通信環境は、現状1から2Gビット程度だが、10Gビット、100Gビットを利用できるようにすれば、IT企業やテレワーク者の転入促進のインセンティブとなる。里山の緑、九十九里浜に近い、都心まで1時間程度という地の利と合わせ、大きなメリットとなる。 ・教育分野では、文部科学省において、初等中等教育学校を学術情報ネットワークSINETに接続する計画が進められている。接続するには、接続拠点となる学術機関が必要だが、幸い東金市には城西国際大学が所在しており、市内の小中高校がSINETに接続しやすい環境がある。いち早く初等中等教育のSINET利用を進めることで、高度な学習環境が整い、県内でも先進自治体として、それを求める子育て層の転入を促進でき、若年人口の増加に繋がると考えられる。

発言者	内容
	<ul style="list-style-type: none"> この5年間はデジタル化が進むので、国の動きを注視し、他の後追いではなく、いち早く取り組めるよう準備願いたい。
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、これからは多分野でデジタル化が進み対応していくものと考えている。P106の記述については、他を追随するような記述になっているが、もっと戦略的に実施していく内容になるよう関係課と協議する。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 関係課の中には、専門的に国や県の動向を確認している担当がいると思うので、よく協議して、記述の仕方を検討願いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 大学でも通信環境が問題となっている。コロナ禍でのオンライン授業をみても、千葉市等に比べ、東金市界限在住の学生の通信環境が良くない。大学に集めて実施するにしても、デジタルインフラが整備されていないなど難しい状況。 行政が施策としてデジタル環境を整備できれば、教育だけではなく、企業が使うことで企業誘致のメリットとなる。 日本は情報政策について遅れている。だからこそ、ひとつの施策として、情報政策課等を設置し積極的に取り組んでいくことで、若者定住にも繋がるのではないかと考える。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 東金市単独で情報インフラを整備するのは難しいかもしれないが、国の情報化の施策を利用して整備するなど、追記できるところはないか、関係課と協議検討してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 目次にページは載せないのか。
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> 最終版ではページ数も記載する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 特徴がない。東金に来ればこれができる、例えば最先端の勉強ができるというものが重要。そういう意味で、先ほど話のあったデジタル庁等との連携により、他との差別化が図れることはいいこと。 文化や地域の祭りなど、市の関わり方についての具体的な記述がない。これは、今後の取組みがはっきりしていないことが原因と考えるが、もっと東金にしかできないもの、もしくは今ある事業でさらに力を入れていく事業を決めた方がいい。 P113 自治活動維持活性化の目標指標「区(自治会)への加入率」の目標を現状維持としたことについて、市民は東金市の動きについて知る必要があると考えるので、行政としては100%を目指すべきではないか。加入率を上げるために努力するという積極性が見えない。 文化・歴史について具体的な記述がない。市民が文化・歴史に触れることで愛着が生まれると思う。

発言者	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にもっと積極的な記述をしてほしい。
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・東金市の強みを活かした取組みを表現できていないとの指摘について、次回までに必要な修正を加えお示しする。 ・目標数値については、達成を目指せる数値にこだわって設定している。一方で、指摘のとおり積極性に欠けるともとれるので、例えば数値の下に「全加入を目指す」等の文言を追記するなど、記述について関係課と協議する。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、自治会を脱退する数と加入する数を比べると、脱退する数の方が多いように感じている。数値目標については、もう一度関係課と協議の上、最終的な判断をしてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治活動については、地域の助け合い(自助・共助)が大事であるという意味での発言である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・議論にでていない特色がないという点、またデジタル環境や文化についての記述を加えた方がいいという点についても同感。 ・P115.116では、(2)みらいづくり for Generation となっているが、P119以降では(2)みらいづくり for Next Generationとなっているので統一した方がいい。 ・区(自治会)加入率について、P113.123では、基準値時点をR1、目標値を現状維持としているが、P118では基準値時点がR2、目標値70%となっているので統一した方がいい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・区(自治会)加入率について、仮に事務局で協議の結果、目標値を70%とすると判断した場合、この数値について委員いかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な数値を示すのは難しいが、努力をするという姿勢は重要である。市と地域が情報共有するためには、区へ加入していただいた方がいいと考えるので、市は働き掛けを行うべきという意味であり、具体的な数値は重要ではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・区への加入の必要性を伝えるのはとても難しい。地域で共助により行っていることも多くあるが理解されないのが現状。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この件については、関係課と十分に議論いただいて、努力の方向性含め示していただきたい。また、区への加入について、議論は簡単ではないが、今回意見として出たので、加入率の上昇に向けて関係課とも協議いただき、次回説明いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動について、P113の内容で議論されているが、SNSを自治会活動に活用することも考えられる。例えば東金市にはLINEアカウントがあり、防災情報もコロナ情報も素早く発信されている。これが周知されれば、危惧されている市の情報から切り離される市民も少なくなる。同じくP83消防団活動についても、デジタル消防団などができれば、市民が情報を取りに行く形で、

発言者	内容
事務局 (企画課長)	<p>消防団の労力削減が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との繋がりは、まちづくりの土台としており、なくてはならないものと位置付けている。市として何をしているのか、また今後5年間は何をしていくのかを市民の皆さんに示していく必要があると考えている。 ・併せて、冊子だけではなく、SNS等を使って、いち早く情報発信ができるよう環境整備をしていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月にまとめるには、大きく修正している時間はなく、今回の意見を反映したものを次回示し、微修正して完成とすることとなるだろう。 ・全てを網羅してあるので、内容が厚くなり、重点事業が見えにくいですが、今回の議論の中で、ベースはこの形でいくと共通理解された。 ・これをベースに、微修正、追加していく。図表、写真が入ると見やすくなると思うので、意識していただきたい。 ・ほぼ全ての事業について、数値目標を設定する必要があるかは疑問。また、設定していない事業もあるので、それとの違いも含め、数値目標をどれだけ設定するかは、事務局の判断に任せる。 ・東金は突出したものがなかったとしても、満遍なく揃っている印象。書き方として例示を入れると東金らしさが浮き出てくる(例えば〇〇のある××のように)。 ・イベントなどは、自分たちが楽しむことが大事。自分たちが楽しんで観光客にも楽しんでもらう。ただ単に、平均的なものをやるのではない。実施計画策定の際には、そういう意識も必要。 ・目玉がないとの指摘があるが、4章のとうがね10年の経営重点戦略部分を、肉付けし、文字を強調するなど、レイアウトを工夫すれば内容が浮き上がってくるのではないかと。 ・4章はまちづくりの柱「1, 2, 3」のみの内容となっており、「4, 5」、「計画の実現に向けて」、「まちづくりの基礎・土台」の内容については、重要な事業も埋没してしまっている。4章を2つに分けて柱「1, 2, 3」以外の重要事業についても記述することで、4章を見ただけで、重点事業が分かるようになるのではないかと。手直しが少ない方法で検討いただきたい。 ・デジタル化についての意見も出たが、国も力を入れているものなので、東金市としてもデジタル化推進の組織・システムを検討してもいい。東金市だけでなく、国、県、地元商工業者、大学等内外と連携し、総力を上げて取り組んでいくことで東金らしさが出せる。

発言者	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・昔と比べ、市役所の業務は多忙となっている。業務内容で同種のものはまとめるなど検討し、ワンストップサービスを進めていく必要がある。 ・地域のコミュニティセンター化や地域の助け合いの議論がそれぞれ独立しているが、どう繋げるかが大事。自治会役員の負担軽減や合意形成についても、例えば行政経験のある地元の方が議論を引っ張り、他の好事例を紹介するなどして、結論が出ないまでも、地元で議論することが大事。 ・主要事業の部分で、新規という欄を設けたが、これをなくして、事業概要の末尾に、字体を変えるなどして、新規と記述するといいい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・多方面の意見をいただいた。できるものとできないものがあると思うが、検討願いたい。

(2) その他

発言者	内容
特になし	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局として3月策定を目指すとのことなので、今回の指摘を受けて、事務局で修正を加え、審議会としての議論の場は、次回1月の会議で最後になるだろう。
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすさの向上が命題である。本日いただいた意見をもとに修正し、次回承認いただけるような内容を示したい。また、まとめり次第、資料について郵送等させていただき、その都度ご意見をいただきながら完成を目指したい。

6 閉会

- ・事務局（企画課副課長）よりあいさつ